

## 消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

## 【事例概要について】



|                 |  |
|-----------------|--|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別  | 事故   |
| 2. 体験した事例の名称    | 建物火災救助活動中における瓦落下による受傷。                                   |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 要救助者救出中、その場を離れられない状況での瓦落下。                               |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 要救助者救出に多少時間を要したこと。<br>落下予測はできていたにもかかわらず、防御対策をとっていなかったもの。 |

## 【体験した事例の直接的な原因について】



|                  |               |
|------------------|---------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 行動の実行に問題があった。 |
|------------------|---------------|

## 【体験した事例について】



|                                  |                           |
|----------------------------------|---------------------------|
| 1. 発生日時                          | 平成 19 年 11 月 26 日 午前 0 時頃 |
| 2. 発生した当時の天候                     | 晴                         |
| 3. 発生した活動現場                      | 屋内：                       |
| 4. 体験した事例の種類                     | 回答者が、自分自身で負傷した。           |
| 5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）  | 軽傷                        |
| 6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）     | 飛来・落下ぶつにぶつかる              |
| 7. 事例体験時の活動                      | 火災、救助、 [ 木造建物 ]           |
| 8. （7の活動中）<br>どのような作業中に発生したか     | 人命検索、人命検索・救出              |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | これまでに1, 2回程度体験している。       |

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

|                      |  |
|----------------------|--|
| ○当事者A                | 年齢[36]歳、勤続年数[13]年、現場経験年数[13]年、階級[消防司令補]、同様の活動[頻繁]、任務[隊員] |
| ○当事者B                | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ]、同様の活動[ ]、任務[ ]          |
| ○当事者C                | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ]、同様の活動[ ]、任務[ ]          |
| その他<br>(当事者が4人以上の場合) |  |

11. 事例発生の経過。

|      | 誰(何)が | なにをした                  | その他・備考など |
|------|-------|------------------------|----------|
| 経過1  | 当事者Aが | 要救助者救出中、瓦が落下し、背部を負傷した。 |          |
| 経過2  |       |                        |          |
| 経過3  |       |                        |          |
| 経過4  |       |                        |          |
| 経過5  |       |                        |          |
| 経過6  |       |                        |          |
| 経過7  |       |                        |          |
| 経過8  |       |                        |          |
| 経過9  |       |                        |          |
| 経過10 |       |                        |          |

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

後方からの監視が行き届いていなかった。他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった。他隊(員)から適切な注意を受けられなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。         | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。              | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | いいえ |
| ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | いいえ |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | いいえ |

d. 心身の不調があった

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                     |     |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。   | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。  | はい  |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | はい  |
| ・暑かった（寒かった）。     | いいえ |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）           | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |     |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | はい  |
| ・隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

|   |
|---|
| はい：要救助者救出中、直上から瓦が落下、その場を離れることができなかったもの。 |
|---|

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

危険区域内での活動において、周囲の監視等を徹底し、落下危険のある箇所では防護板等の使用を考慮する。

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

監視体制を徹底する。

